

# 2024 Global Spotlight インサイト レポート

オープンソースのセキュリティに対する信頼は依然として強く、回答者の **68%** は **OSSはより安全** と考えています。



回答者の **79%** が、オープンソース開発アプローチが **ソフトウェア開発の向上** につながると考えています。



回答者の **77%** は、**公的資金で開発されたソフトウェアはオープンソースであるべき** であることに同意しており、これはオープンソースの原則に強く一致していることを反映しています。



回答者の半数近くは、新たな規制がオープンソースへの貢献にどのような影響を与えるかについて、**依然として確信を持っていません**。

**IT およびメディア業界はオープンソースの使用と貢献の両方でリード** していますが、政府や医療などの規制対象セクターは OSS への関与に慎重です。



OSS 貢献者は、平均して **週 9 時間** をオープンソースプロジェクトに費やしています。



回答者の **50%** が OSS への貢献は無給であると報告していますが、**最大の課題は依然として時間不足** (63%) であり、次いで資金不足 (34%) となっています。



**5 社中 2 社** が重要な OSS プロジェクトを維持するためにメンテナーを雇用しており、そのうち **74%** の組織が **メンテナーの雇用から高い価値を得ています**。



**人工知能/機械学習** はオープンソース開発の恩恵を受けている主要な分野であり、**44%** で最も多く言及されています。



オープンソースの業界における主なメリットは、**イノベーション** (57%)、**標準と相互運用性** (57%)、**生産性** (50%) です。



OSS 貢献者の **72%** は **学習を動機** としており、69% は魅力的または有用であると感じるプロジェクトへの参加を動機としています。



回答者の **64%** は、**2024 年に OSS の使用によるビジネス価値の増加を報告し**、56% は OSS の貢献による **メリットの増加** を報告しています。

